



湿原散歩

釧路湿原にエゾハルゼミの鳴き声が広がり、近くの林では巣立って間もないカワラヒワが親鳥から餌をねだる姿を見かけた。自宅から仕事場へ向かう途中のキタキツネの巣でも子ギツネが先月よりも一回りも大きくなり、外で遊ぶ範囲が徐々に広がってきたようだ。

好奇心いっぱいの子ギツネは何処で見つけて来たのか、ボトル容器に興味津々のようで、振り回したり、転がしたり、しまいにはボコボコにしてしまったものに興味がなくなったのか、巣から離れた場所に転がっていた。「野生動物によるごみの拡散はまずい」とばかり回収しようとした先の草陰から、親ギツネの鋭い眼光が見えた。



塘路フィールドノート【6/15～7/14】

【野鳥】

現在野鳥たちは子育ての真っ最中。塘路湖畔では徐々に巣立ちを迎えた幼鳥の姿も見られるようになってきました。まだ親離れできない幼鳥が餌をねだって親鳥の後ろを追いかける微笑ましい場面に出くわすこともあります。



アオバト♂ (塘路湖畔)

水辺の樹上にいるところを発見。魔王に例えられる特徴的な鳴き声が響いていました



アオバト♀ (塘路湖畔)

←の♂とほぼ同地点で発見。もしかしたら近くに巣があるのかもしれませんが



キジバト (塘路湖畔)

夕方になるとセンター近くに現れます。警戒心が強く、なかなか近寄れませんが…



キセキレイ (塘路湖畔)

塘路湖畔ではやや稀な野鳥です。お腹の部分の黄色味が薄いことから幼鳥のようです



ヒガラ (コッタロ湿原)

親鳥(右)と巣立ち直後の幼鳥(左)。他にも数羽の幼鳥が親鳥を追いかけていました



アオジ (コッタロ湿原)

やぶの中からちょうど見やすい場所に上がってきた♀。樹上で餌の木の实を物色中

【植物】

先月号で花シーズンは順調と書きましたが、6月の中旬から続く寒さの影響からか、夏の植物の開花が全体的にやや遅れ気味ようです。夏を前にして停滞気味の季節に植物たちも戸惑っているのかもしれない。



アイヤメ (塘路湖畔)

湿原の6月といえばアイヤメの花。ただ、塘路湖畔では生育は局所的で個体数も少なめです



ホザキシモツケ (コッタロ湿原)

昨年同時期に比べて開花は遅れ気味ですが、この花が咲くと景色が一気に華やぎます



カラフトイバラ (コッタロ湿原)

すでに結実しているものも多く見られた一方、花も昨年同時期より多く残っていました



オオハナウド (サルボ展望台下)

今セリ科で一番目立つのはこの花。この辺りでは例年塘路湖畔に先駆けて咲き始めます。



ギョウジャニンニク (サルボ展望台下)

ちょうど見ごろを迎えていました。地味な花ですが、群生すると意外に存在感があります



バイケイソウ (サルボ展望台下)

今年はバイケイソウの当たり年。塘路湖周辺ではこの辺りが一番の咲きっぷりでした

【昆虫】

7月に入り、見かける昆虫の種類が多くなってきました。しかし、今最もホットな話題は塘路湖畔を飛び回る大量のサトキマダラヒカゲとヤマキマダラヒカゲ。あまりに多すぎて、どこを見渡してもその姿が視界に入ります。



ヤマキマダラヒカゲ (塘路湖畔)

類似種のサトキマダラヒカゲとともに大発生中。センターの中にもよく入ってきます



エゾハルゼミ (サルルン展望台)

長雨の後、久々に見られた青空の下で、お腹を震わせて精いっぱい鳴いていました



コサナエ (サルルン展望台)

ヨツボシトンボやイトトンボ類に混じって時々見かけます。こちらは体がスリムな♂。

■土器作りを体験

7日、自然ふれあい行事「縄文土器作り講座」を開催しました。はじめに講師の標茶町博物館学芸員の坪岡さんから、塘路地区から発掘の際出土した縄文時代の土器を見せてもらい、文様や形の特徴などを教わったあと、早速粘土を使って土器作りを行いました。

底の部分を作ったあと、ひも状にした粘土をその上に積み上げながら土器を作り、午後から表面に文様付け作業となりました。講師から粘土板に付けた様々な縄目（縄文）を見せてもらい、他に貝殻や木の枝などを使って各自土器を仕上げました。乾燥後8月上旬に野焼きをして土器を完成させます。



講師の坪岡さんによる出土品の解説

【講座案内】切り絵でアイヌ文様を作ろう

講座「ペーパー工房 切り絵でアイヌ文様作り」を下記の日程で開催します。

ハサミを使ってアイヌ伝統の文様を作ってみませんか？

○開催日程：7月28日（土）・8月3日（金）・8月10日（金）

○場所：塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

○時間：11時～12時と14時～15時の2回（事前申込不要）

○受講料：無料

ぜひお気軽にご参加ください。



【お知らせ】水曜日も開館します！

7月18日（水）～8月15日（水）までの期間は水曜日も開館します。ぜひご利用ください！

【お知らせ】コラボクイズ企画を準備中

現在、7月1日にオープンした標茶町博物館（ニタイ・ト）とコラボしたクイズ企画を準備中です。開始は8月中旬頃の予定。詳細は次号にて。

【お知らせ】Instagram始めました

Instagramのページを開設しました。これから塘路湖周辺の自然をちよくちよく紹介していきますので、お時間のある時にでもちょっと覗いてみてください。



torokoemc

8月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎釧路湿原 自然と歴史を訪ねて

[日 時] 8月11日（土）10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎バードカービング展

[日 時] 7月22日（日）～8月12日（日）

10時～17時（申込不要）

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター
レクチャールーム

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

◎盛夏の花を見に行こう

[日 時] 8月5日（日）10時～12時

[定員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎ザリガニウォッチング1

～ウチダザリガニ編～

[日 時] 8月12日（日）10時～12時

[定員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター（0154-65-2323）まで

◆日出・日入時間 6/15(3:43,19:03). 6/31(3:46,19:06). 7/14(3:56,19:01)

～編集後記～

■夏を迎えた釧路湿原に観光客の姿が目立つようになりました。サルボ展望台やコッタロ湿原展望台、エコミュージアムセンター隣の湖畔歩道などには周りの景観や散策を楽しんでいる人の姿を見かけます。釧路市街地と比べ、内陸に位置する塘路地区は気温や湿度が高くなる日がありますので、特に晴れた日の散策には水・塩あめ・日傘などを用意してください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL：015-487-3003 FAX：015-487-3004
E-mail：emc@hokkai.or.jp

Instagram 

開館時間：10：00～17：00

（11～3月：16：00まで）

休館日：毎週水曜日（水曜日開館期間中!!）

12月29日～1月3日 入館無料